

2005年 あけましておめでとうございます

今年こそ希望に輝く年に

京丹後市が誕生して9ヶ月あまりが経ちました。「合併しなければ町の財政は破綻する」「今のサービス水準を続けようと思えば合併するしかない」合併を強行した人たちの一番の理由はこうした財政問題でした。しかし、今、市の財政は合併前にも増して大変な状況にあります。

合併によって、それぞれの町で取り組まれ喜ばれていた独自の施策はことごとく削り取られ、住民サービスは低いところに、国保・水道料などの住民負担は高くなりました。

そして、いま「行財政改革」計画づくりが急ピッチで進められ、民間委託の推進、補助金の削減など市民の暮らしに影響する内容が盛りこまれようとしています。

国政の問題では、消費税増税、憲法を変えて日本をアメリカと一緒に戦争ができる国にしようという動きが強まっています。

私たちは、年頭にあたり暮らしと平和を守る思いを新たにしているところです。どうか本年もよろしく願いいたします。

今こそ憲法9条で、世界に平和を広げよう

平和の問題でも、大きな岐路に立たされていると言っても大げさではない状況が進んでいます。自民党は11月には、新憲法草案を作ると言っている。民主党も憲法を変えるべきとの論陣、このいずれもが9条の中身を変え、自衛隊が海外での武力行使を可能にする（戦争をする）ものです。



今年、戦後60年、日本

国憲法は、あの太平洋戦争での犠牲の上に立って、日本の議会で、2度と戦争をしない国へと世界に誓った誇るべき内容です。

アメリカの始めたイラク戦争に、国内からも間違っていたと言う世論が半数を超えるまでになっているもとの、憲法9条の輝きが一層大きくなり、まさに今が大事な時、変えるのではなく世界に広げるときではないでしょうか。

12月議会を終えて

23号台風の復旧が思うように進まない中で、日本共産党議員団は、台風災害の被害状況の把握の問題点、漁業、商工業への支援策の薄さを追求しました。義援金については、基金に積み立てておくのではなく被災者への支援に早急に回すべきであると強く迫りました。

また、提出された「最低保障年金制度の実現を求める請願」「子ども達にゆきとどいた教育を、30人学級の実現、教育予算増額を求める請願」についての、賛成は、日本共産党の3名のみで否決となりました。市民のみなさんの願いに背を向けるも

のです。

市長は、来年度予算についてスリム化をめざし痛みを伴うことを強調しています。市民の暮らしや福祉を守る自治体の役割が後退するものです。

市民への痛み押しつけを許さず、一層みなさんの声を届け、暮らし福祉応援でがんばります。



日本共産党
京丹後市議会だより
日本共産党京丹後市議員団

2005年1月16日

NO 3

京丹後市峰山町荒山
日本共産党丹後地区委員会
TEL 0772-62-1159

ご意見など お気軽に連絡下さい

松田 せいけい TEL 82-0755

森 まさる TEL 72-1761

平林 ちえみ TEL 65-3663